



気をつけよう！感染症（令和8年第7号）

令和8年7月8日発行
松本市保健所保健予防課

ダニによる感染症（ダニ媒介感染症）に注意！！

○ダニ媒介感染症とは？

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症のことです。

人が野外作業や農作業、レジャー等で、これらのダニの生息場所に立ち入ると、ダニに刺されることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、刺された人が病気を発症することがあります。

○主なダニ媒介感染症

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ツツガムシ病、ライム病

○症状

咬まれたあと数日から数週間以内に以下のような症状が現れます。

発熱、頭痛、全身倦怠感、食欲不振、消化器症状（嘔吐・下痢等）

ダニに刺された時の対応

○無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（ダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

○ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。受診の際はダニに刺されたことを伝えてください。

[松本市ホームページ](https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/119099.html)



<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/119099.html>

[厚労省ホームページ](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku_nitsuite/bunya/0000164495.html)



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku_nitsuite/bunya/0000164495.html

[JIHS ホームページ](https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.htm)



<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.htm>

予防のポイント

農作業やレジャーなどの活動をする場合は、マダニに咬まれないよう注意しましょう。

○肌の露出を少なくする

- ・長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用
- ・帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く
- ・シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ・足を完全に覆う靴を履く



○明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすい）

○虫除け剤を使用する（医薬品の表示があるものがおすすめ）

*上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

*屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

ペットのダニ対策

ペットを介して、庭や屋内にダニが持ち込まれることがあります。

また、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

に感染し、発症している動物（ペットの犬・猫等を含む）の体液に接触することで感染することもあります。



○ダニ駆除剤の使用等について獣医師に相談

○ペットが外から帰宅したらダニがついていないか確認

○ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ